

文科省の竹内企画官が委員の紹介と配布資料の紹介を行った後、資料 1-1-1(小委員会の設置)を説明した。約 4 分を要した。其の後質問は無く、議事進行が井上主査に移った。文科省の竹内企画官が資料 1-1-2(当面の進め方)を 3 分余で説明した後、5 分程の質疑応答があった。

井上主査:有難う御座いました。只今のご説明について、ご意見とかご質問があれば、お願い致します。……まああの、私が何か申上げるのも変なもんですけれども、中間取り纏めまでに、「26 年度概算要求を念頭に」と云う事になると、多分に性急な…スケジュール的には中々きつい事って云う事になると思うので、必ずしも…私としては其れに拘らなく、自由闊達な意見交換が出来る事も大事なんではないかと思しますので、其の中から、良い方向が出てくれば、その、概算要求に向けて取り纏めをさせて頂くと云う事なんだろうと思しますので、其の様に此のアレを考えれば宜しいんではないかと思ひます。……はい。

柳課長:エー、事務局から多少補足をさせて頂きたいと思ひます。一寸資料戻りますけれども、資料 1-1-1 と云う、先程の設置ペーパーをめくって頂きますと、3 頁目に参考資料¹と云う事で、文科省の「宇宙開発利用部会」と云う、此の小委員会の親に当ります部会で、実は前期報告書を纏めて頂きまして、此れが 12 月 18 日に纏まって御座います。其の中で、宇宙

¹ 文字を拾い直したが、「参考資料」の開始は 3/5 頁で同じになる。

科学についてですネ、今後検討して行こうと云う事で、「ア、世界を先導する宇宙科学研究の推進」と云う蘭の中段位に、「その際、…」と云う処²があるんですが、此処から…宇宙科学、非常に、此れ迄も頑張って来て、色々な取組がなされていますけれども、其の中でも「新規分野、融合分野への取組の促進、ISAS」…ISAS ってのは宇宙科学研究所ですが、其処と「各大学の連携協力の強化、それから大学研究者の流動化の促進、外国人の受け入れ促進など、ISAS を中心とした宇宙科学コミュニティが世界のトップ・サイエンス・センタとして機能する様な取組を進めて行く」と云う事を此の中では言ってるんですが、じゃあ、具体的に何をやってったら良いかと云う事で、其の次の段落「当該検討に当っては、宇宙開発利用を先導して行くとの観点や、学術研究の特性に配慮し、当部会に検討の場を設けるなど広く関係者の意見を集約しつつ施策の具体化に取り組む」と云う事で、此の辺りの記述を踏まえて此の小委員会が設置されたと云う経緯が御座います。で、あの一、先程、ま、今年予算だけって云う事では全くないんですけれども、後に付いてます「宇宙基本計画」³って云うのが、実は宇宙の全体を、まあ、考える方向性をしておりますけれども、此の宇宙基本計画って云うのは、今年 1 月に作成されて、或る意味此の 4 月から「新

² 「中段」ではなく、「左段落の下部」になっている。第 3 パラグラフである。

³ 資料 1-1-1 の 5/5 頁冒頭から示されている。

宇宙基本計画元年」に当たると云う事で、新たに定められた基本計画に踏まえて、宇宙の今後の体制を作って行くって云う予算が、多分今年色々出て来るのかなと。そう思うと26年度概算要求に入れて行く事が、その、基本計画が新しくなったって事を踏まえた、まあ、一つの対応として…有るんじゃないかと。で、宇宙科学の人達の議論で云うのも、宇宙科学としてどう思うのかと云う事と、此の委員会自体の構成を申し上げますと、3分の1位が宇宙科学に関わる大学共同利用機関的な役割を果たしてます ISAS、それから大学で宇宙科学に関係しておられる方、そして、残りの3分の1位は宇宙科学以外の分野で先端的な事をやられてる方、乃至は全く関係ない、第三者的な、例えばマスコミ関係とか、そう云う方に3分の1入って頂いてる、で、夫々の目から見てですネエ、何を為して行くのが良いかと、そう云う観点で議論をして頂ければ…まあ、予算だけではなく、其れ以外に我々文科省の取り組み方とかですネエ、旗の振り方、まあ、あんまり余計な事するなって事もあるでしょうから、そうであれば文科省引っ込んでるって云うのもあるでしょうし、色々な視点からご意見頂ければ有難いと思ってます。以上です。

井上主査:有難う御座いました。あ、今のご発言を含めて、ご意見御座いますでしょうか。……まあ、あの、それでは、此の…色々な議論をして行く中で、此の辺りの色々な内容は、結局戻ってく部分があるかと思えますけれども、当面は此の資料1-1-2に沿って進めて行くと云う事にしたいと思えます。では、宜しければ、続きまして、「宇宙科学分野の現状につい

て」と云う…(以下省略)